

特別栽培農産物認証事業の 申請承認状況について

〔平成29年度の特別栽培農産物の
申請承認状況〕※12月申請分

◎野菜・10申請、26・9ヘクタール

（前年比 2申請減、6・3ヘクタール増）

◎果樹・11申請、15・4ヘクタール

（前年比 1申請減、0・4ヘクタール減）

申請数減の要因は、東日本大震災による風評被害により離れた消費者が戻らず、販売量が減少していることなどが理由です。面積増は、量販店からの需要増があり面積を増やしたためです。

◎米・126申請、2,344ヘクタール

（前年比 12申請増、68ヘクタール減）

申請数増の要因は、個人農家の申請者が増えたためで、行政とJAが一体となった地域ブランドの確立や、環境保全型農業直接支払交付金の助成を受けるために取組むという事例もありました。面積減は、風評被害による業務用品種への転換などが理由です。

〔特別栽培農産物の生産現場を訪ねて〕

JA福島さくら・いわき地区本部管内のトマト栽培農家、助川成光氏の圃場に伺いました。開口一番、「土づくりが大事、よい土を作るには何年ものかかり今でも勉強



寒い時期は、よりおいしく食べてもらうために完熟間近で収穫します

中」とのこと。力を入れている点は、病気になる環境を作る、土づくりに手間をかけることだそうです。JA販売が9割で、ハウス前での直売やこだわりレストランなどへも販売しています。「特別栽培農産物も広く認知され市場からの引き合いもあるが、PRをもっとしてほしい」との要望もいただきました。

特別栽培農産物は、環境に配慮し安全安心を訴求するものです。認証した農産物が信頼されるために、これからも認証事業を適正に運営していきます。

福島の魅力を全国へ発信 JAグループ国産農畜産物商談会開催

3月7日と8日の2日間、東京都千代田区にあります東京国際フォーラムで、「第11回JAグループ国産農畜産物商談会」が開催されました。この商談会は、国産農畜産物及び加工品の販売力強化と、新規販売チャネルの創出を目的とした継続的な取り組みで、毎年開催されています。特に今回は、JAグループが目指す農家手取り向上と、担い手・生産部会への販売支援のため、より多くの担い手に出展していただくことにも焦点を置いて開催されました。

全国各地から約150団体のJA・農業生産法人・関連企業等の出展があり、会場内には各地域の特色ある農畜産物や農産加工品が並びました。来場者数は2日間で前回の3,767名を大きく上回る5,198人となるなか、訪れたバイヤーに積極的に売り込みをするなど、会場内は活気に溢れていました。

JAグループ福島からは、JA全農福島（園



芸部・畜産部）、JAパールライン福島（株）、JAライフクリエイト福島（株）が出展しました。JA全農福島園芸部では「しいたけ」「アスパラガス」などの青果物、畜産部は「福島牛」「麓山高原豚」「ジェラート」「JAパールライン福島（株）は「天のつぶ」「コシヒカリ」「ひとめぼれ」、（株）JAライフクリエイト福島は新商品「麓山高原豚ふりかけ」などの加工品をバイヤーに提案し、試食の提供を含め、多くの来場者へその美味しさをPRしました。試食した方からは「美味しい」といった高評価をいただき、福島県産農畜産物の魅力を存分に知ってもらおうと、熱心にPRと商談に取り組みました。

4月にお届けする材料を使用したレシピです

JA ふれあい食材
おすすめ
レシピ

メバルのねぎダレから揚げ



●材料は2人分が基準になっております。

●盛付例はイメージです。

※材料の野菜がない場合は家庭にある好きな野菜をお使い下さい。

材料

・メバル切身……………2切
・玉ねぎ……………1/4個
・青しそ……………3枚
・人参……………適量
・塩……………少々
・小麦粉……………適量
・揚げ油……………適量

しょうゆ……………大さじ1.5
酒……………大さじ1/2
酢……………小さじ1
ごま油……………小さじ1
こしょう……………少々
ねぎ（みじん切り）…大さじ1/2
青ネギ（小口切り）…2本分

作り方

- ①魚は骨を取り、2cm角の棒状に切り、塩を軽く振る。
- ②玉ねぎ、人参、青しそは細めのせん切りにして水にさらし、水気をしっかり切る。
- ③Aを混ぜ合わせる。
- ④①に小麦粉をまんべんなくつけ、中温の油で揚げる。
- ⑤器に②、④を盛り合わせ、③のねぎダレをかけて、出来上がり。

今月のイベント

4月5～7日	畜産部	平成29年度和牛初せり
4月11日	管理部	JAパールライン福島 米低温倉庫竣工式
4月22日	畜産部	福島県ホルスタインショー



ラジオ福島 「農家の皆さんへ」

午前5時15分～25分
放・送・予・定

4月3日	営農企画部	食の安全確保対策について
4月4日	米穀部	営農相談室
4月10日	畜産部	第11回全国和牛能力共進会について
4月11日	園芸部	営農相談室（防霜対策について）
4月17日	生産資材部	水稻除草剤の上手な使い方
4月24日	米穀部	福福キャンペーンの開催について



東北地方の長期予報



<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北日本海側では、天気は数日の周期で変わるとでしょう。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並の確率50%です。2週目は、平年並の確率50%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

<気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

4月1日～4月30日			
【気温】東北地方	20	40	40
【降水量】東北地方	30	40	30
【日照時間】東北地方	30	40	30

<気温経過の各階級の確率(%)>

4月1日～4月7日	20	50	30
4月8日～4月14日	20	50	30
4月15日～4月28日	20	40	40

凡例： 低い（少ない） 平年並 高い（多い）
（仙台管区気象台 発表）

編集後記

新年度のスタートです。全農福島では新しいWEB広告の企画がスタートします。

福島県に特化した情報サイト「ふくらボ！」とコラボし、年間を通して様々な企画を行います。第一弾は「農ガールコレクション2017」と題し、農業に関わる女性をご紹介します連載ページがスタート。郡山市で六次化商品の販売に取り組む生産農家さんや、東京の市場で働く女性セリ人など、様々な視点と立場で農業に携わる女性陣の、働く姿勢や想いをお届けします。

4月17日より公開となりますので、ぜひ「ふくらボ！」とインターネットで検索してみてくださいね。